

選挙区名称	候補者氏名	フリガナ	党名	問1	その他	問2
北海道選挙区	大林 誠	オオハヤシ マコト	幸	1		米軍普天間基地の移転を日米同意通りに進めるべき。
北海道選挙区	徳永 エリ	トクナガ エリ	民			
北海道選挙区	畠山 和也	ハタヤマ カズヤ	共	3		
北海道選挙区	藤川 雅司	フジカワ マサシ	民			
北海道選挙区	中川 賢一	ナカガワ ケンイチ	み			
北海道選挙区	長谷川 岳	ハセガワ ガク	自			
青森県選挙区	升田 世喜男	マスタ セキオ	た			
青森県選挙区	波多野 里奈	ハタノ リナ	民			
青森県選挙区	山田 清彦	ヤマダ キヨヒコ	社	3		グアム・テニアンへの全面的移設。
青森県選挙区	山崎 力	ヤマザキ ツトム	自			
青森県選挙区	吉俣 洋	ヨシマタ ヨウ	共	3		無条件撤去で米政府と交渉する。日米合意は白紙にする。
岩手県選挙区	高橋 雪文	タカハシ ユキフミ	自			
岩手県選挙区	伊沢 昌弘	イザワ マサヒロ	社	3		普天間基地は撤去すべき。移設か廃止かは米国が判断すべきものと考ええる。
岩手県選挙区	主濱 了	シュハマ リョウ	民			
岩手県選挙区	瀬川 貞清	セガワ サダキヨ	共	3		日米合意を白紙撤回し、無条件撤去を求めて対米交渉をする。
宮城県選挙区	市川 一朗	イチカワ イチロウ	無			
宮城県選挙区	加藤 幹夫	カトウ ミキオ	共			
宮城県選挙区	菅野 哲雄	カンノ テツオ	社	3		無条件即時返還すべき。
宮城県選挙区	熊谷 大	クマガイ ユウタ	自	1		地元との信頼関係を回復し、日米合意にある平成26年の普天間飛行場返還をただちに進めるべき。
宮城県選挙区	菊地 文博	キクチ フミヒロ	み	1		今となっては政治的信頼回復が第一。
宮城県選挙区	桜井 充	サクライ ミツル	民			
宮城県選挙区	伊藤 弘美	イトウ ヒロミ	民			
宮城県選挙区	村上 義昭	ムラカミ ヨシアキ	幸			
秋田県選挙区	石井 浩郎	イシイ ヒロオ	自	1		危険な状況。早く移設すべきと考ええる。
秋田県選挙区	鈴木 陽悦	スズキ ヨウエツ	民			
秋田県選挙区	藤田 和久	フジタ カズヒサ	共	3		無条件撤去すべきです。
山形県選挙区	梅津 庸成	ウメツ ヨウセイ	民			
山形県選挙区	太田 俊男	オオタ トシオ	共	3		即時・無条件返還して、米国内に帰るべきです。
山形県選挙区	岸 宏一	キシ コウイチ	自			
山形県選挙区	川野 裕章	カワノ ヒロアキ	み			
福島県選挙区	岩城 光英	イワキ ミツヒデ	自			
福島県選挙区	岩渕 友	イワブチ トモ	共	3		アメリカ政府は、「地元の合意」がないところには、基地をおかない、これを基本原則にしている。普天間基地の無条件撤去をアメリカ政府にきっぱりと伝える。
福島県選挙区	菅本 和雅	スガモト カズマサ	み			
福島県選挙区	増子 輝彦	マシコ テルヒコ	民			
福島県選挙区	岡部 光規	オカベ ミツノリ	民			
茨城県選挙区	岡田 広	オカダ ヒロシ	自			
茨城県選挙区	稲葉 修敏	イナハ ノブトシ	共	3		国際法違反で取り上げた土地であり、無条件で県民に返還する。
茨城県選挙区	大川 成典	オオカワ シゲノリ	み			
茨城県選挙区	郡司 彰	グンジ アキラ	民			
茨城県選挙区	長塚 智広	ナカツカ トモヒロ	民			
茨城県選挙区	中村 幸樹	ナカムラ コウキ	幸	1		日米同盟を強化しつつ、核の脅威から国民を守る防衛体制を構築するためにも、沖縄の米海兵隊は重要な抑止力である。
茨城県選挙区	吉田 里江	ヨシダ リエ	た			
栃木県選挙区	荒木 大樹	アラキ アイジュ	み			
栃木県選挙区	小池 一徳	コイケ カズノリ	共	3		無条件撤去以外に解決の道はない。
栃木県選挙区	築瀬 進	ヤナセ ススム	民			
栃木県選挙区	上野 通子	ウエノ ミチコ	自			
群馬県選挙区	富岡 由紀夫	トモオカ ユキオ	民			
群馬県選挙区	中曽根 弘文	ナカソネ ヒロフミ	自			
群馬県選挙区	店橋 世津子	タナハシ セツコ	共	3		無条件撤去。その立場でアメリカと正面から交渉すべきです。
埼玉県選挙区	伊藤 岳	イトウ ガク	共	3		無条件全面撤去で米政府と交渉すべき。
埼玉県選挙区	島田 智哉子	シマダ チヤコ	民	4	キャンプシュワブ辺野古地区及びこれに隣接する水域	民主党マニフェストの中で、「普天間基地移設問題に関しては、日米合意に基づいて、沖縄の負担軽減に全力をあげます」と明記しています
埼玉県選挙区	大野 元裕	オオノ モトヒロ	民	2	米軍の駐留は沖縄県民に過重な負担になっており、普天間基地の海兵隊はできるだけ国外に最低でも県外に移転させるべきだ。	普天間基地は、地元住民に過重な負担となっており、県外に移転させるべきであるが、現実には移転先の選定や理解、米側との調整などが必要であり、すぐに移転させることは難しい。そこで、第一ステップとして、辺野古周辺に移転させ、さらに第二ステップとして、沖縄県民の負担を軽減する施策を実施する。
埼玉県選挙区	関口 昌一	セキグチ マサカズ	自			
埼玉県選挙区	小林 司	コバヤシ ツカサ	み			
埼玉県選挙区	中川 幸司	ナカガワ コウジ	改			

埼玉県選挙区	院田 浩利	インダ ヒロシ	幸		
埼玉県選挙区	西田 実仁	ニシダ マコト	公		
埼玉県選挙区	長谷川 幸世	ハセガワ コウセイ	無	1	
埼玉県選挙区	日森 文尋	ヒモリ フミヒロ	社	3	普天間の危険性をいち早く除去すべき。 世界で一番危険な基地であり、近隣住民の生命と生活をおびやかすもの。即刻、基地の返還を。 地元住民の方々との信頼関係を再構築するところから始めるべき。
千葉県選挙区	猪口 邦子	イノグチ くにこ	自		1
千葉県選挙区	道 あゆみ	ミチ アユミ	民		
千葉県選挙区	水野 賢一	ミズノ ケンイチ	み		
千葉県選挙区	古閑 比佐志	コカ ヒサシ	改		
千葉県選挙区	清水 哲	シミス 哲	創		
千葉県選挙区	牧野 正彦	マキノ マサヒコ	幸		
千葉県選挙区	小西 洋之	コニシ ヒロユキ	民		
千葉県選挙区	椎名 一保	シメナ カズヤス	自		
千葉県選挙区	斉藤 和子	サイウ カズコ	共	3	日米合意の白紙撤回、基地の無条件撤去の要求で対米交渉をおこなう。
東京都選挙区	小川 敏夫	オガワ トシオ	民		
東京都選挙区	小池 晃	コイケ アキラ	共	3	
東京都選挙区	中川 雅治	ナカガワ マサル	自	4	自民党政権時代の辺野古沿岸部案がベストだが、まずは地元住民の方々との信頼関係構築からスタートすべきである。
東京都選挙区	森原 秀樹	モリハラ ヒデキ	社	3	無条件で撤去すべきです。 普天間基地の移設に関しては、日本の安全保障の観点から「抑止力の維持」と「地元負担の軽減」ということが重要。基地周辺住民の方々に様々な負担をかけていることを踏まえつつ、沖縄における米軍基地の整理・統合・縮小をはじめ、基地周辺住民の方々の負担軽減や生活環境の整備などの諸施策を推進します。 とりあえず県外・国外へ移転。将来的には全面撤退。
東京都選挙区	蓮 舫	レンホウ	民		
東京都選挙区	竹谷 とし子	タケヤ トシコ	公		
東京都選挙区	江木 佐織	エギ サオリ	国		
東京都選挙区	松田 公太	マツダ コウタ	み		
東京都選挙区	海治 広太郎	ウミジ コウタロウ	改		
東京都選挙区	小倉 麻子	オクラ アサコ	た		
東京都選挙区	山田 宏	ヤマダ ヒロシ	創		
東京都選挙区	矢内 筆勝	ヤナイ ヒツシヨウ	幸		
東京都選挙区	佐野 秀光	サノ ヒデミツ	諸		
東京都選挙区	又吉 光雄	マツヨシ ミツオ	諸		
東京都選挙区	石原 結実	イシハラ ユウミ	無		
東京都選挙区	東海 由紀子	トウカイ ユキコ	自		
東京都選挙区	阪 彰敏	サカ アキトシ	諸		
東京都選挙区	マック 赤坂	マック アカサカ	諸		
東京都選挙区	和合 秀典	ワカヘ ヒデノリ	諸		
東京都選挙区	沢田 哲夫	サワタ テツオ	無		
東京都選挙区	田中 博子	タナカ ヒロコ	無		
東京都選挙区	姫治 けんじ	ヒメジ ケンジ	諸		
東京都選挙区	松本 実	マツモト ミル	無		
東京都選挙区	小川 昇志	オガワ ショウジ	無		
神奈川県選挙区	加藤 文康	カノウ フンコウ	幸	1	日米同盟は今日の日本の国防に不可欠であるから、当初の日米合意を履行し、辺野古へ移設すべき。
神奈川県選挙区	木村 栄子	キムラ エイコ	社	3	普天間基地は即時返還、移設先は国外で日米交渉のやり直し。
神奈川県選挙区	千葉 景子	チバ ケイコ	民		
神奈川県選挙区	金子 洋一	カネコ ヨウイチ	民		
神奈川県選挙区	山本 誠一	ヤマモト セイイチ	無		
神奈川県選挙区	小泉 昭男	コイズミ アキオ	自		
神奈川県選挙区	畑野 君枝	ハタノ キミエ	共	3	「日米合意」を撤回し、移設条件なしの無条件撤去を求め、対米交渉を堂々とするべき。
神奈川県選挙区	中西 健治	ナカニシ ケンジ	み		
神奈川県選挙区	甲斐 敬浩	カイ タカヒロ	改		
神奈川県選挙区	松田 学	マツダ マナブ	た		
新潟県選挙区	近藤 正道	コンドウ マサミチ	無	2	移転(代替基地)が必要なら、費用負担の手がかりに、テニアン、グアムへの移転を求めて、アメリカ政府と粘り強く交渉すべきだ。
新潟県選挙区	武田 勝利	タケダ ショウリ	共	3	無条件撤去を求めてアメリカと本腰の交渉をおこなうべき。
新潟県選挙区	田中 直紀	タナカ ナオキ	民		
新潟県選挙区	笠巻 健也	カサマキ ケンヤ	幸		
新潟県選挙区	中原 八一	ナカハラ ヤイチ	自		
新潟県選挙区	安中 聡	アンナカ サトシ	無		
富山県選挙区	相本 芳彦	アイモト ヨシヒコ	民		
富山県選挙区	高橋 渡	タカハシ ワタル	共	3	無条件撤退。
富山県選挙区	野上 浩太郎	ノノミ コウタロウ	自		

石川県選挙区	近松 美喜子	チカマツ ミキコ	共	3	基地の無条件撤去が実現した段階で、県民、住民の活用意向調査を行い、基地に依存しない豊かな沖縄の自然・文化がいきる観光、農業、中小企業の復興に役立てていく。
石川県選挙区	西原 啓	ニシハラ アキラ	民		
石川県選挙区	岡田 直樹	オカダ ナオキ	自		
福井県選挙区	井ノ部 航太	イノベ コウタ	民		
福井県選挙区	山田 和雄	ヤマダ カズオ	共	3	代替案など提案せず、無条件に撤去すべき。
福井県選挙区	山崎 正昭	ヤマザキ マサアキ	自		
山梨県選挙区	輿石 東	コシイシ アズマ	民		
山梨県選挙区	花田 仁	ハナダ ヒトシ	共	3	移設先は国内のどこにもない。無条件撤去のためにアメリカとの本腰を入れて交渉をすべき。
山梨県選挙区	根本 直幸	ネモト ナオユキ	無		
山梨県選挙区	宮川 典子	ミヤガワ ノリコ	自		
山梨県選挙区	木川 貴志	キガワ タカシ	無		
長野県選挙区	中野 早苗	ナカノ サナエ	共	4	「米軍再編」の名による新基地建設・基地強化に反対し、基地のない日本をめざしてたたかう。
長野県選挙区	井出 庸生	イデ ヨウセイ	み		「日米合意」を白紙撤回し、無条件撤去を求めて対米交渉をする。
長野県選挙区	臼田 寛明	ウスダ ヒロアキ	幸	1	日米合意に基づき建設をすすめる。
長野県選挙区	北澤 俊美	キタザワ トシミ	民		
長野県選挙区	高島 陽子	タカシマ ヨウコ	民	2	まずは沖縄県民の願いを改めて受け止め、衆院任期いっぱいかけて現状把握、検討する。
長野県選挙区	若林 健太	ワカバヤシ ケンタ	自	4	自由民主党が永年にわたり、沖縄県民の皆様と話し合い合意した成果を民主党は県民、国民をだまして混乱させた責任は大きい。まず日米合意ありきでなく、県民・国民都の合意を優先させるべき。民主党は方針転換したことを率直にお詫びし、マニフェストを訂正すべき。
岐阜県選挙区	加納 有輝彦	カナウ ユキヒコ	幸	1	周辺に住む住民を集団で県内外の地域に転居して頂く。移設先は高級住宅仕様とする。
岐阜県選挙区	鈴木 正典	スズキ マサノリ	共	3	無条件撤去を求める。
岐阜県選挙区	山下 八洲夫	ヤマシタ ヤスオ	民		
岐阜県選挙区	小見山 幸治	コヤマ ヨシハル	民		
岐阜県選挙区	渡辺 猛之	ワタナベ タケユキ	自		
静岡県選挙区	河合 純一	カワイ ジュンイチ	み		
静岡県選挙区	藤本 祐司	フジモト ユウジ	民	4	辺野古に移設すべきとは言わないが、政府の慎重な検討であるが故に尊重する。但し今後も沖縄の負担軽減は継続して交渉するべきである。
静岡県選挙区	中野 雄太	ナカノ ユウタ	幸		
静岡県選挙区	中本 奈緒子	ナカモト ナオコ	民		
静岡県選挙区	渡辺 浩美	ワタナベ ヒロミ	共	3	日米合意を白紙撤回し、移設条件なしの撤去＝無条件撤去を求めてアメリカと本腰を入れて交渉を始めるべきです。
静岡県選挙区	岩井 茂樹	イワイ シゲキ	自		
愛知県選挙区	青山 光子	アオヤマ ミツコ	社	3	2、3は同じ回答でしょう。3が日米安保体制に触れており、より前進的な回答かな！
愛知県選挙区	藤川 政人	フジカワ マサヒト	自		即時・無条件撤去すべき。
愛知県選挙区	斉藤 嘉隆	サイトウ ヨシタカ	民	2	東アジアの緊張緩和と理解、経済的一体化を総合的に進める中で解決が図られるべき。
愛知県選挙区	中根 裕美	ナカネ ヒロミ	幸		
愛知県選挙区	本村 伸子	モトムラ ノブコ	共	3	日米合意を白紙に戻し、無条件撤去を求めて対米交渉する。
愛知県選挙区	薬師寺 道代	ヤクジツ ミチヨ	み	1	移設すべき。
愛知県選挙区	安井 美沙子	ヤスイ ミサコ	民		
三重県選挙区	芝 博一	シバ ヒロカス	民		
三重県選挙区	中野 武史	ナカノ タケシ	共	3	日米合意を白紙撤回し、移設条件なしの撤去を求めて米政府と交渉する。
三重県選挙区	小野崎 耕平	オノザキ コウヘイ	自		
三重県選挙区	矢原 由佳子	ヤハラ ユカコ	み		
滋賀県選挙区	川内 卓	カノウチ タカシ	共	3	無条件で撤去させるべき。
滋賀県選挙区	武村 展英	タケムラ ノブヒデ	自	1	2006年の日米合意に基づき移設すべき。
滋賀県選挙区	林 久美子	ハヤシ クミコ	民	4	沖縄県民の過重な負担を軽減するために、訓練を他の地域に分散させる、基地を分散させる、またはそのものを移転させるにしても、沖縄およびその他の地域、さらには国民全体で負担を分かち合うという認識・理解が得られるように、じっくり丁寧な議論を積み重ね、米国へも対応をしていく必要があると考える。
滋賀県選挙区	小西 理	コニシ オサム	無		
京都府選挙区	福山 哲郎	フクヤマ テツロウ	民		
京都府選挙区	河上 満栄	カワカミ ミツエ	民		

京都府選挙区	成宮 真理子	ナルミヤ マリコ	共	3		もともと米軍が住民から不法に取り上げた土地であり、移転先は日本国内のどこにもなく、世界一危険な基地は無条件撤去が当然です。
京都府選挙区	北川 智子	キタガワ サチコ	幸			
京都府選挙区	二之湯 智	ニノユ サチシ	自			
京都府選挙区	中川 卓也	ナカガワ タクヤ	み			
大阪府選挙区	石川 博崇	イシカワ ヒロタカ	公	4	沖縄県民の頭越しに決めるのではなく、普天間の危険性除去のため政府の責任で早期解決すべき。	米軍基地の縮小、地位協定の見直し。
大阪府選挙区	尾立 源幸	オダチ モトユキ	民			
大阪府選挙区	岡部 まり	オカベ マリ	民			
大阪府選挙区	清水 忠史	シミス タダシ	共	3		世界一危険な基地であり、即時撤去すべき。
大阪府選挙区	大川 朗子	オオカワ アキコ	社			
大阪府選挙区	山分 ネルソン祥興	ヤマワケ ネルソンヨシオキ	改			
大阪府選挙区	浜野 夕希子	ハマノ ユキコ	創			
大阪府選挙区	深田 敏子	フカダ トシコ	幸			
大阪府選挙区	北川 イッセイ	キタガワ イッセイ	自			
大阪府選挙区	川平 泰三	カワヒラ タイゾウ	み			
兵庫県選挙区	堀内 照文	ホリウチ テルフミ	共	3		無条件撤去を求めて米政府と本腰を入れて交渉する。
兵庫県選挙区	水岡 俊一	ミスオカ シュンイチ	民			
兵庫県選挙区	三橋 真記	ミハシ マキ	民			
兵庫県選挙区	吉田 愛弥	ヨシダ アイミ	改			
兵庫県選挙区	高木 義彰	タカキ ヨシアキ	幸			
兵庫県選挙区	井坂 信彦	イサカ ノブヒコ	み			
兵庫県選挙区	末松 信介	スエマツ シンスケ	自			
奈良県選挙区	太田 敦	オオタ アツシ	共	3		無条件即時撤去しかありません。
奈良県選挙区	前川 清成	マエカワ キヨシゲ	民			
奈良県選挙区	山田 衆三	ヤマダ シュウゾウ	自			
和歌山県選挙区	島 久美子	シマ クミコ	民	2		
和歌山県選挙区	鶴保 庸介	ツルホ ヨウスケ	自			
和歌山県選挙区	吉田 雅哉	ヨシダ マサヤ	共	3		無条件撤去こそ解決をはかることができます。
鳥取県選挙区	岩永 尚之	イワナガ ナオユキ	共	3		無条件撤去。
鳥取県選挙区	坂野 真理	サカノ マリ	民	4	1996年のSACO合意、2006年の日米ロードマップに基づき止めること。	ていねいな説明で、沖縄の協力を得ること。
鳥取県選挙区	浜田 和幸	ハマダ カズユキ	自			
島根県選挙区	青木 一彦	アオキ カズヒコ	自			
島根県選挙区	石飛 育久	イシヒ イクヒサ	共	3		無条件撤去。
島根県選挙区	岩田 浩岳	イワタ ヒロタカ	民	2		普天間基地は撤去。
島根県選挙区	桜内 朋雄	サクラウチ トモオ	み			
岡山県選挙区	江田 五月	エダ サツキ	民	4	5月28日の日米合意を踏まえるが、移設計画や負担軽減の具体策について、沖縄県を始め地元の方々に誠心誠意説明し、理解を求めていく。	普天間基地の移設・返還と一部海兵隊のグアム移転は実施すべきである。
岡山県選挙区	垣内 雄一	カキウチ ユウイチ	共	3		日米合意を白紙撤回し、無条件撤去を求めて対米交渉をする。
岡山県選挙区	山田 美香	ヤマダ ミカ	自	4	朝鮮半島、東シナ海での脅威が高まるなか、日本の平和を守るため、今まで以上、丁寧に沖縄県民の皆様と協議していくことが大切と考える。	
広島県選挙区	大西 理	オオニシ オサム	共	3		無条件に撤去。
広島県選挙区	柳田 稔	ヤナギタ ミノル	民			
広島県選挙区	中川 圭	ナカガワ ケイ	民	4	日米合意を踏まえつつ、沖縄の負担軽減に全力を尽くすべき。	移設・返還。
広島県選挙区	宮沢 洋一	ミヤザワ ヨウイチ	自			
広島県選挙区	植松 満雄	ウエマツ ミツオ	幸			
山口県選挙区	木佐木 丈助	キサキ タイスケ	共	3		無条件撤去しか解決策はありません。
山口県選挙区	岸 信夫	キシ ノブオ	自			
山口県選挙区	原田 大二郎	ハラダ ダイジロウ	民			
徳島県選挙区	古田 元則	フルタ モトノリ	共	3		無条件撤去すべき。
徳島県選挙区	吉田 益子	ヨシダ マスコ	民			
徳島県選挙区	小池 正勝	コイケ マサカツ	改			
徳島県選挙区	竹尾 あけみ	タケオ アケミ	幸			
徳島県選挙区	中西 祐介	ナカニシ ユウスケ	自			
徳島県選挙区	豊川 卓	トヨカワ タカシ	無			
香川県選挙区	磯崎 仁彦	イソザキ ニシヒコ	自	1	基地周辺住民の方々に様々な負担をかけていることを踏まえつつ、沖縄における米軍基地の整理・統合・縮小をはじめ、基地周辺の方々の負担軽減や生活環境の整備などの諸施策を推進。特に新たな負担を被る関係自治体には特別な配慮。	早期に廃止すべし。

香川県選挙区	岡内 須美子	オカウチ スミコ	無			
香川県選挙区	藤田 均	フジタ ヒトシ	共	3、4	アメリカ軍は日本から出てもらおう。	無条件撤去。
愛媛県選挙区	岡平 知子	オカヒラ トモコ	民			
愛媛県選挙区	郡 昭浩	コオリ アキヒロ	無	1、4	飛行機・ヘリコプター等々と小分けにしてそれぞれを乗せた状態のユニットとしてのホーバークラフトを沖縄沿岸と辺野古沖に待機させ、浮かぶ飛行島を構築させて・・・対処する。より具体的には別紙の通り。	カジノ特区・25歳以上でないと立ち入り禁止。無条件即時撤去すべきです。米軍へ引き揚げればよい。
愛媛県選挙区	田中 克彦	タナカ カツヒコ	共	3		
愛媛県選挙区	山本 順三	ヤマモト ジュンゾウ	自			
高知県選挙区	春名 直章	ハルナ ナオアキ	共	3、4	安保条約を破棄し、友好条約に変える。	無条件撤去。
高知県選挙区	広田 一	ヒロタ ハジメ	民			
高知県選挙区	田村 公平	タムラ コウヘイ	無			
高知県選挙区	高野 光二郎	タカノ コウジロウ	自			
高知県選挙区	藤島 利久	フジシマ トシサ	無			
福岡県選挙区	大家 敏志	オオエ マシ	自			
福岡県選挙区	大久保 勉	オオクボ ツトム	民	2		一国も早く全面的に返還されるべきです。
福岡県選挙区	篠田 清	シノダ キヨシ	共	3		無条件撤去の方針で米政府と交渉すべき。
福岡県選挙区	堤 要	ツツミ カナメ	無	4	日米同盟のもとで、沖縄の負担を着実に軽減していくことが重要です。	日米同盟のもとで、沖縄の負担を着実に軽減していくことが重要です。
福岡県選挙区	吉村 剛太郎	ヨシムラ コウタロウ	国			
福岡県選挙区	佐藤 正夫	サトウ マサオ	み			
福岡県選挙区	吉富 和枝	ヨシトミ カズエ	幸			
佐賀県選挙区	甲木 美知子	カツキ ミチコ	民			
佐賀県選挙区	福岡 資麿	フクオカ シマ	自			
佐賀県選挙区	山口 勝弘	ヤマグチ カツヒロ	共	3		無条件撤去。
長崎県選挙区	犬塚 直史	イヌツカ ナオシ	民	4	二国間同盟である日米安保を進化させ、東アジアに多国間安全保障体制を創出すべきだ。	まず普天間、嘉手納の一部、那覇空港の航空自衛隊基地などを県内に集合移転させ、同時に在沖米軍専用仕様地域の約8割を一括返還させる。新基地の管理は自衛隊が行う。日米地位協定は国連地位協定に置き換える。
長崎県選挙区	金子 源二郎	カネコ ゲンジロウ	自	2		国外移転が難しければ、米軍が駐留していない県外に移転できるよう、米軍及び移転候補地の自治体の合意を得る必要あり。
長崎県選挙区	瀨瀬 栄子	フチセ エイコ	共	3		米軍基地を無条件で撤去し、土地は返還させるべき。
長崎県選挙区	中嶋 徳彦	ナカシマ ノリヒコ	み			
熊本県選挙区	本田 浩一	ホンダ コウイチ	民			
熊本県選挙区	本田 顕子	ホンダ アキコ	み			
熊本県選挙区	安達 安人	アタチ ヤスト	共	3		移設条件なしの無条件撤去を求めて米国と本腰を入れて交渉すべき。
熊本県選挙区	前田 武男	マエタ タケオ	創			
熊本県選挙区	松村 祥史	マツムラ ヨシフミ	自			
大分県選挙区	足立 信也	アダチ シンヤ	民	2		沖縄の負担軽減策については、より多くの当事者(全国知事会含む)による、「熟慮」と「討議」を重ねながら具体的な対策を考えていく必要がある。
大分県選挙区	小田原 潔	オダワラ キヨシ	自			
大分県選挙区	山下 魁	ヤマシタ カイ	共	3		「日米合意」を破棄して普天間基地は「無条件撤去」。
宮崎県選挙区	馬場 洋光	ババ ヒロミツ	共	3		無条件で即時撤去させるべき。
宮崎県選挙区	松下 新平	マツタ シンペイ	自	4	自民党政権時代の辺野古沿岸部案がベストだが、まずは地元住民の方々との信頼関係構築からスタートすべきである。	普天間基地の移設に関しては、日本の安全保障の観点から「抑止力の維持」と「地元負担の軽減」ということが重要。基地周辺住民の方々に様々な負担をかけていることを踏まえつつ、沖縄における米軍基地の整理・統合・縮小をはじめ、基地周辺住民の方々の負担軽減や生活環境の整備などの諸施策を推進します。
宮崎県選挙区	渡辺 創	ワタナベ ソウ	民			
鹿児島県選挙区	柿内 弘一郎	カキウチ コウイチロウ	民	2		'06のロードマップ、'09のグアム協定で明記されている、'14グアム移転を順守すべき。
鹿児島県選挙区	野村 哲郎	ノムラ テツロウ	民			
鹿児島県選挙区	山口 陽則	ヤマグチ ハルキ	共	3		無条件撤退をもとめて米国と交渉する。
沖縄県選挙区	伊集 唯行	イジツ ヲキユキ	無	3		即時閉鎖・無条件撤去。
沖縄県選挙区	島尻 安伊子	シマシリアイコ	自			
沖縄県選挙区	山城 博治	ヤマシロ ヒロジ	無	2		県外・国外移転による即時閉鎖、返還。
沖縄県選挙区	金城 竜郎	キンジョウ リュウロウ	幸			
比例区	赤石 清美	アカイシ キヨミ	自	4	辺野古沿岸部。自民党案でいくべきだが、こじらせてしまった現在は再度地元民と信頼回復をまずは構築する必要があると考える。	移設については抑止力の維持がポイントと考える。安保の観点からみるのと同時に地元負担の軽減等諸施策も講ずるべき。
比例区	饗庭 直道	アエバ ナオミチ	幸			
比例区	秋野 公造	アキノ コウゾウ	公			
比例区	秋元 司	アキモ ツカサ	自			

比例区	浅野 隆雄	アサノ 隆雄	社	3	県外・国外移設をすべき。	
比例区	足高 慶宣	アシタカ ヨシノブ	た			
比例区	阿達 雅志	アタチ マサシ	自			
比例区	雨宮 秀樹	アミヤ ヒデキ	公			
比例区	荒井 広幸	アライ ヒロユキ	改			
比例区	荒木 清寛	アライ キヨヒロ	公			
比例区	有田 芳生	アリタ ヨシフ	民	3		閉鎖、移転し、たとえばガン治療などに有効な国際医療都市にする。
比例区	安藤 高夫	アンドウ タカオ	民			
比例区	家西 悟	イエニシ サトル	民			
比例区	池谷 幸雄	イケタニ ユキオ	民			
比例区	石井 茂	イシイ シゲル	民			
比例区	石川 悦男	イシカワ エツオ	幸			
比例区	石川 敬子	イシカワ ケイコ	女			
比例区	石橋 通宏	イシハシ ミチヒロ	民			
比例区	板倉 一幸	イタクラ カズユキ	民			
比例区	一瀬 明宏	イチセ アキヒロ	自			
比例区	市田 忠義	イチダ タダヨシ	共	3		即時無条件撤退。
比例区	伊藤 和央	イトウ カズオ	民			
比例区	伊藤 始	イトウ ハジメ	自			
比例区	浮島 智子	ウキシマトモコ	公			
比例区	上里 清美	ウエサト キヨミ	共	3		即時閉鎖・無条件撤去。
比例区	上野 宏史	ウエノ ヒロシ	み			
比例区	臼井 正人	ウスイ マサト	自			
比例区	宇都 隆史	ウト タカシ	自			
比例区	江口 克彦	エグチ カツヒコ	み			
比例区	江崎 孝	エザキ タカシ	民			
比例区	江本 孟紀	エモト タケノリ	国			
比例区	大石 正光	オオイシ マサミツ	民			
比例区	大嶋 幸治	オオシマ コウジ	み			
比例区	大瀬 敬昭	オオセ ケイアキ	社			
比例区	大西 宏幸	オオニシ ヒロユキ	自			
比例区	大平 喜信	オオヒラ ヨシノブ	共	3		無条件撤去。
比例区	岡 佑樹	オカ ユウキ	た			
比例区	岡崎 友紀	オカザキ ユキ	民			
比例区	岡崎 裕	オカザキ ユタカ	共	3		「日米合意」を撤回し、移設条件なしの無条件撤去を求め、対米交渉を堂々と行うべき。
比例区	岡 千陽	オカ チハル	共	3		無条件で撤去すべきです。
比例区	岡野 俊昭	オカノ シアキ	創			
比例区	小熊 慎司	オグマ シンジ	み	1		完全移設。
比例区	小野 綾子	オノ アヤコ	公			
比例区	小野 次郎	オノ ジロウ	み			
比例区	小野寺 有一	オノデラ ユウイチ	自			
比例区	片岡 佳世子	カタオカ カヨコ	女			
比例区	片山 和子	カタヤマ カズコ	共	3		無条件撤去でアメリカ政府と本腰を入れて交渉。
比例区	片山 さつき	カタヤマ サツキ	自			
比例区	片山 虎之助	カタヤマ トラノスケ	た			
比例区	桂 きん枝	カツラ キンシ	民			
比例区	加藤 敏幸	カトウ トシユキ	民			
比例区	亀原 了円	カメハラ リョウエン	民			
比例区	河江 明美	カワエ アケミ	共	3		無条件でただちに撤去すべきです。
比例区	神田 美佐子	カンダ ミサコ	共	3		無条件に早く撤去すべきである。
比例区	神取 忍	カントリ シノブ	自			
比例区	喜納 昌吉	キナ ショウキチ	民			
比例区	木村 義雄	キムラ ヨシオ	自			
比例区	工藤 堅太郎	クドウ ケンタロウ	民			
比例区	黒川 白雲	クロカワ ハクウン	幸			
比例区	小池 敏昭	コイケ シアキ	公			
比例区	小坂 憲次	コサカ ケンジ	自			
比例区	小寺 弘之	コデラ ヒロユキ	民			
比例区	後藤 啓二	ゴトウ ケイジ	み			
比例区	後藤 俊秀	ゴトウ シンヒデ	国			
比例区	小林 正夫	コバヤシ マサオ	民			
比例区	小林 解子	コバヤシ トキコ	共	3		無条件に撤去すべきである。
比例区	斉藤 弘	サイトウ ヒロシ	創			
比例区	佐草 一優	サカサ カズマサ	改			
比例区	桜内 文城	サクラウチ フミキ	み	4	本来なら、国家間で決定した現行案が良かったのだが、現政権が沖縄人々の心も日米関係も壊してしまったので、まず信頼関係の修復が必要です。	日本の安全保障、沖縄の負担軽減、米国との外交、すべてにおいて万全の策がない為、日米の合意案を基にし、沖縄の負担を軽減するよう最大限配慮するのがベターです。
比例区	佐藤 長右衛門	サトウ チョウウエモン	共	3		無条件撤去すべきと考えます。

比例区	佐藤 雅子	サトウ マサコ	女			
比例区	佐藤 ゆかり	サトウ ユカリ	自	1		完全移転。
比例区	清水 鴻一郎	シミズ コウイチロウ	み			
比例区	清水 隆司	シミズ タカシ	創			
比例区	清水 信次	シミズ ノブツグ	民			
比例区	清水 美代子	シミズ ミヨコ	女			
比例区	柴田 巧	シバタ タクミ	み			
比例区	柴野 多伊三	シバノ タイゾウ	自			
比例区	下田 敦子	シモダ アツコ	民			
比例区	庄野 真代	ショウノ マヨ	民			
比例区	杉井 保之	スギイヤスユキ	創			
比例区	杉村 太蔵	スギムラ タイゾウ	た			
比例区	杉本 哲也	スギモト テツヤ	創			
比例区	鈴木 敏之	スズキ トシユキ	公			
比例区	大門 実紀史	ダイモン ミキシ	共			
比例区	高階 恵美子	タカガイ エミコ	自			
比例区	竹内 栄一	タケウチ エイチ	民			
比例区	竹内 恵美子	タケウチ エミコ	女			
比例区	田島 美和	タジマ ミワ	自			
比例区	田城 郁	タシロ カオル	民	2		「県外・国外移設」に最大の努力をし、米国とも粘り強い交渉が必要。
比例区	館 信秀	タテ ノブヒデ	み			
比例区	田中 朝子	タナカ アサコ	み			
比例区	田中 茂	タナカ シゲル	み			
比例区	田中 雅英	タナカ マサエ	み			
比例区	谷 亮子	タニ リョウコ	民			
比例区	谷合 正明	タニアイ マサアキ	公			
比例区	田村 耕太郎	タムラ コウタロウ	民			
比例区	田村 智子	タムラ トモコ	共	3		日米合意を白紙撤回し、無条件撤去を求め対米交渉する。
比例区	塚本 直子	ツカモト ナオコ	女			
比例区	薦田 恵子	ツダダ ケイコ	み			
比例区	津田 弥太郎	ツダ ヤタロウ	民			
比例区	土田 博和	ツチダ ヒロカス	民			
比例区	角田 宏子	ツノダ ヒロコ	自	4	自民党政権時代の案がベスト。まず地元住民の方々との信頼再構築から。	日本の安全保障の上から抑止力の維持、地元負担の軽減。
比例区	寺田 典城	テラタ スケヒロ	み	1		これからしかるべき期間において、脅威への抑止力、急迫不正の侵害に対する機動力の観点から現行どおり辺野古に建設すべきである。そのことに対して、全ての国民が感謝を示し、ご理解を賜るよう努力すべきである。また将来のグアム移転に向け、引き続き努力すべきである。
比例区	ドクター・中松	ドクター・ナカマツ	幸			
比例区	敏 いたう	トシ イトウ	国			
比例区	直嶋 正行	ナオシマ マサユキ	民			
比例区	永井 久美子	ナガイ クミコ	女			
比例区	中川 義雄	ナカガワ ヨシオ	た			
比例区	長沢 広明	ナガサワ ヒロアキ	公			
比例区	中田 宏	ナカタ ヒロシ	創			
比例区	中野 正志	ナカノ マサシ	自			
比例区	中村 秀樹	ナカムラ ヒデキ	民			
比例区	中村 博彦	ナカムラ ヒロヒコ	自			
比例区	中村 幸嗣	ナカムラ ユキツグ	改			
比例区	中畑 清	ナカハタ キヨシ	た			
比例区	中山 成彬	ナカヤマ ナリアキ	た			
比例区	那谷屋 正義	ナタニヤ マサヨシ	民			
比例区	難波 奨二	ナンバ ショウジ	民			
比例区	西島 英利	ニジシマ ヒデトシ	自			
比例区	西田 静郎	ニシダ シズオ	共	3	「米軍再編」の名による新基地建設・基地強化に反対し、基地のない日本をめざして活動をすすめます。	日米の合意は白紙にもどし、無条件撤去を求めて、対米との交渉を正面から行うこと。
比例区	西村 修	ニシムラ オサム	国			
比例区	西村 正美	ニシムラ マサミ	民			
比例区	仁比 聡平	ニヒ ソウヘイ	共	3		即時・無条件で撤去すべきだ。
比例区	野村 紘一	ノムラ コウイチ	民			
比例区	萩原 誠司	ハギワラ セイジ	改			
比例区	白 真勲	ハク シンクン	民			
比例区	長谷川 憲正	ハセガワ ケンセイ	国			
比例区	鳩山 太郎	ハトヤマ タロウ	改			
比例区	浜田 昌良	ハマダ マサヨシ	公	4	辺野古を第1候補として新たな日米合意を検討すべき。	2014年までに移転し、危険な状況をなくす。
比例区	浜田 良之	ハマダ ヨシユキ	共	3		即時除去への交渉。
比例区	林 雅敏	ハヤシ マサトシ	幸			

比例区	原 和美	ハラカズミ	社			
比例区	日置 龍晴	ヒオキ タツハル	自			
比例区	平田 耕一	ヒラタ コウイチ	自			
比例区	広恵 敏秀	ヒロエ トシヒデ	公			
比例区	広中 和歌子	ヒロナカ ワカコ	民			
比例区	福井 智代	フクイ トモ	女			
比例区	福島 瑞穂	フクシマ ミズホ	社	3		今回の選挙で民意を示し、アメリカとの再交渉が必要。日米共同宣言の見直しをし、最低でも県外、できれば国外を実現したい。そのために、超党派で市民連携し、交渉していきたい。
比例区	藤井 厳喜	フジイ ゲンキ	た			
比例区	藤井 基之	フジイ モトユキ	自			
比例区	藤末 健三	フジスエ ケンゾウ	民			
比例区	藤巻 幸夫	フジマキ ユキオ	み			
比例区	古田 聡	フルタ サトシ	公			
比例区	保坂 三蔵	ホサカ サンゾウ	自			
比例区	保坂 展人	ホサカ ノブト	社	3		全面撤去を基本に対米交渉を行う。最低でも県外・国外移設を実現する。
比例区	細野 浩司	ホソノ コウジ	公			
比例区	堀内 恒夫	ホリウチ ツネオ	自			
比例区	前田 武志	マエダ タケシ	民	4	海の生物多様性を守るサンゴ礁を埋め立てることには重大な危機感を抱いている。新基地建設には尚議論が必要である。	核の密約等、旧自民政権時代になされた日米間の約束ごとを見極めた上で、改めて議論を始めるべき。
比例区	前田 雄吉	マエダ ユウキチ	民			
比例区	松岡 徹	マツオカ トオル	民			
比例区	松岡 力雄	マツオカ リキオ	民	2		検討中です。
比例区	松浪 健四郎	マツナミ ケンシロウ	自			
比例区	円 より子	マドカ ヨリコ	民			
比例区	真山 勇一	マヤマ ユウイチ	み			
比例区	新渡 英夫	アラト ヒデオ	国			
比例区	三ヶ尻 亮子	ミカジリ リョウコ	共	3		地球規模の戦略を進行するための基地である在日米軍基地は世界の平和にとって有害です。無条件撤去すべきです。
比例区	三木 圭恵	ミキ ケイ	た			
比例区	水落 敏栄	ミズオチ トシエイ	自			
比例区	三橋 貴明	ミツハシ タカアキ	自			
比例区	三原 じゅん子	ミハラ ジュンコ	自			
比例区	宮越 馨	ミヤコシ カオル	み			
比例区	宮崎 勝	ミヤザキ マサル	公			
比例区	宮野入 晶子	ミヤノイリ アキコ	共	3		日米合意を白紙撤回し、普天間基地は無条件で撤去する。そのための対米交渉にふみだす。
比例区	宮本 一三	ミヤモト イチゾウ	国			
比例区	村岡 敏英	ムラオカ トシヒデ	た			
比例区	村田 直治	ムラタ ナオジ	民	2		日本にある米軍基地を段階的に縮小すべき。無条件撤去すべき。日米合意を撤回し、米国政府と交渉する。
比例区	森 正明	モリ マサアキ	共	3		
比例区	門伝 英慈	モンデン エイジ	自			
比例区	八代 英太	ヤシロ エイタ	民			
比例区	安井 潤一郎	ヤスイ ジュンイチロウ	自			
比例区	柳沢 光美	ヤナギサワ ミツヨシ	民			
比例区	矢野 義昭	ヤノ ヨシアキ	民			
比例区	矢野 洋子	ヤノ ヨウコ	女			
比例区	山田 太郎	ヤマダ タロウ	み	2		沖縄の負担を日本人全員が理解して、県外に移設するべき。
比例区	山谷 えり子	ヤマタニ エリコ	自			
比例区	湯沢 大地	ユザワ ダイチ	み			
比例区	横山 信一	ヨコヤマ シンイチ	公			
比例区	吉田 鈴香	ヨシダ スズカ	み			
比例区	吉田 忠智	ヨシダ タクトモ	社			
比例区	米田 雅子	ヨネダ マサコ	み			
比例区	米山 哲郎	ヨネヤマ テツオ	公			
比例区	吉山 英美	ヨシヤマ ヒデミ	女			
比例区	若林 亜紀	ワカバヤシ アキ	み			
比例区	脇 雅史	ワキ マサシ	自			
比例区	渡辺 具能	ワタナベ トモヨシ	自			
比例区	鰐淵 洋子	ワニブチ ヨウコ	公			
					123名 7月5日	